

日栄インテック製

CCDタッチスキャナ

FFTA10A / 11シリーズ 特殊設定活用事例集



FFTA10Aシリーズ



FFTA11シリーズ

初期化(USB用)



初期設定



USB接続



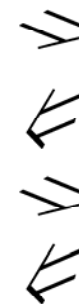
設定終了



設定開始



日本語キーボード



日栄インテック株式会社
バーコード事業部

TEL : 03-5256-7733 FAX : 03-5256-5503

E-Mail : info@barcode.ne.jp

デコード多重チェック

FFTA10A/FFTA11

【内容】

誤読しやすいバーコードラベルであった場合、数回のデコーディングを行うことで**誤読防止**になります。

回数設定は、16進2桁で表現します。

デフォルトは01(1回)です。

【活用例】

画像化されたバーコードを引き伸ばしたものを印刷したため、**白スペース**と**黒BAR**との対比が合わなくなって、認識しづらいバーコードラベルになってしまった。

デコード回数を2回にする場合の設定

設定例



開始



チェック回数
の設定



0

(16進2桁で2回)

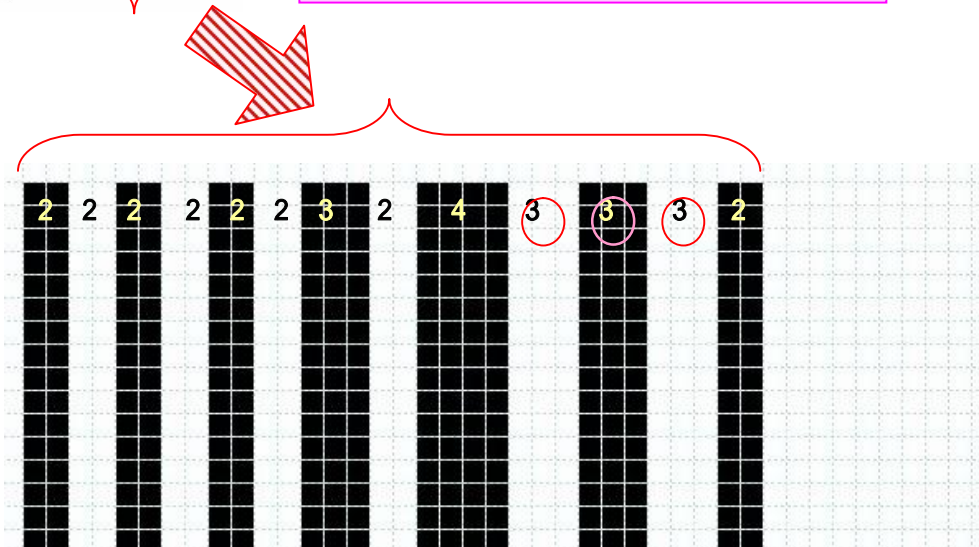


2

(16進2桁で2回)



ここがあやしい!!
バーコードの太さが不均一なため、
誤読しやすい。



二度読み防止機能

FFTA10A/FFTA11

【内容】

同じバーコードを続けて2回読んでしまうことがないように、一定時間バーコードデータを監視する機能です。

異なるバーコードであれば通常の連続読み取りが出来ます。

時間の間隔の設定は、16進2桁で表現します。

【活用例】

電子機器の同梱でシリアルを外装に貼ってあるなど、たくさん並んだバーコード同士の間隔が小さいため、間違っって同じものを2度読みしてしまう場合。

例) 外箱のシリアル



バーコードがたくさん並んでいる



設定開始



連続読ON

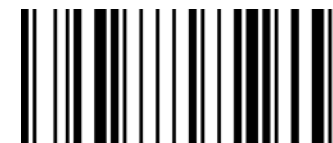


設定例

「25.5秒で設定」



設定開始



Safety time setting



F

(16進2桁で255)



F

(16進2桁で255)

【内容】

キーボードのCapsLockがONであると、バーコードデータもONの効果
が得られます。

バーコードデータが大文字であれば小文字に、小文字であれば大文字に
変換されます。

リーダー側のCapsLockをONにすることで、

大文字 小文字 大文字 AはA

小文字 大文字 小文字 aはa

というように元に戻ります。

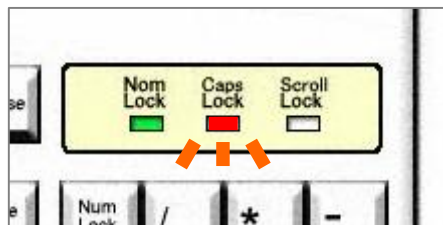
【活用例】

キーボードで大文字入力しながらバーコード入力するケース。

例) CODE 39



NICHIEI



元のデータ	CapsLock・OFF	CapsLock・ON
小文字	N I C H I E I	n i c h i e i
大文字	n i c h i e i	N I C H I E I

設定例



設定開始



CapsLock ON



CapsLock OFF



設定終了

キーボード入力は大文字なので、
バーコード(CODE 39)も大文字
にしたい

日本語入力中に半角出力を

FFTA10A/FFTA11

【内容】

キーボードで日本語文章をかな入力中にバーコードデータを入力しようとする、バーコードデータも全角になってしまいます。リーダーからのバーコードデータのみ半角にする場合、この設定で可能になります。

設定の構造は、

全角 / 半角 OFF バーコードデータ 全角 / 半角 ON

となっています。

) リーダーの設定は英語キーボードにします。

【活用例】

EXCELなどで作文中にセルにバーコードデータを入力したい。

バーコードリーダーから
入力した半角文字

全角

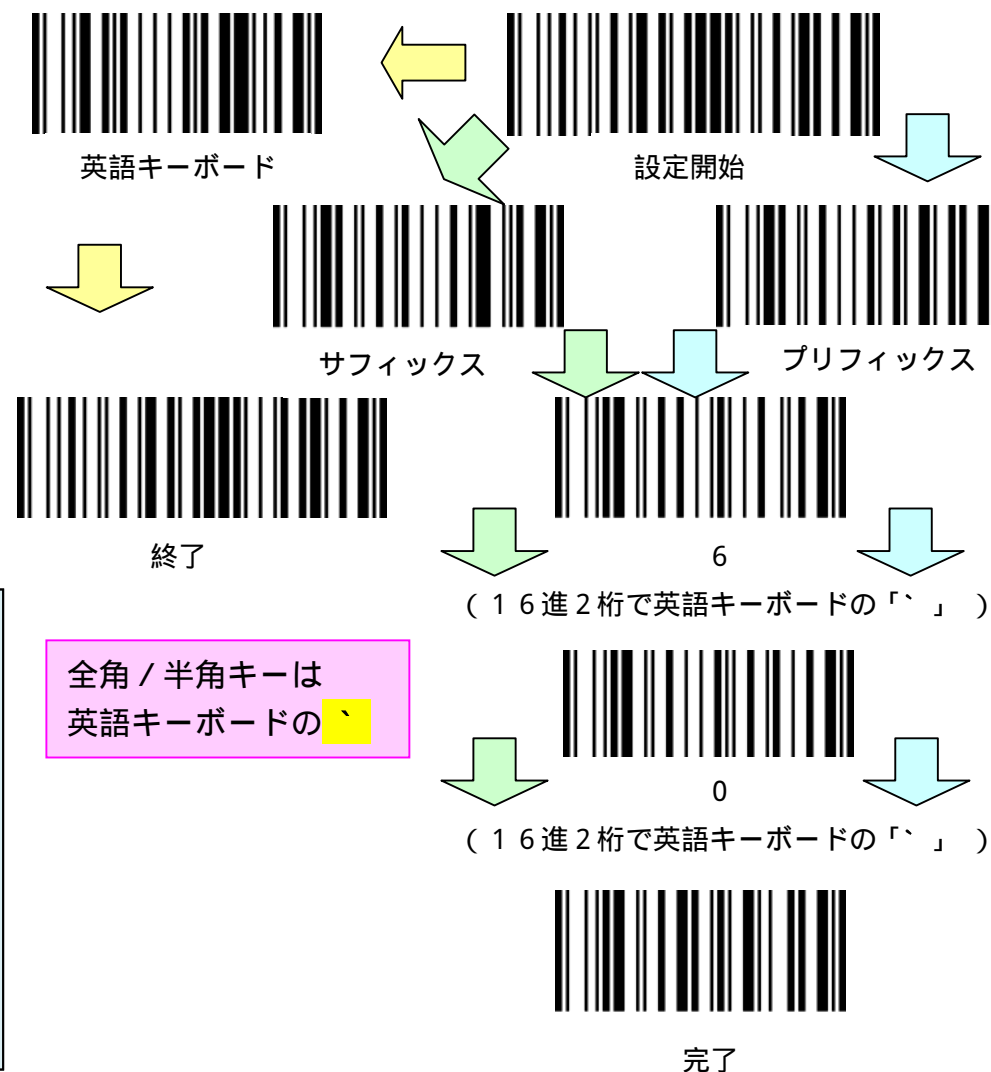
全角

あいうえお 1234567 かきくけこ

さしすせそ 6767676 たちつてと

なにぬねの 9986641

設定例



日栄インテック株式会社

ブザー音の長さの設定

FFTA10A/FFTA11

【内容】

読み取りブザー音の長さを0.01秒(01)から2.55秒(F F)まで変更することができます。

デフォルトは0.05秒(05)です。

【活用例】

読み取りブザー音を長くすることで、騒音の中での作業でも読み取りを確認できるようになります。

設定例



設定開始



ブザー音の長さの設定

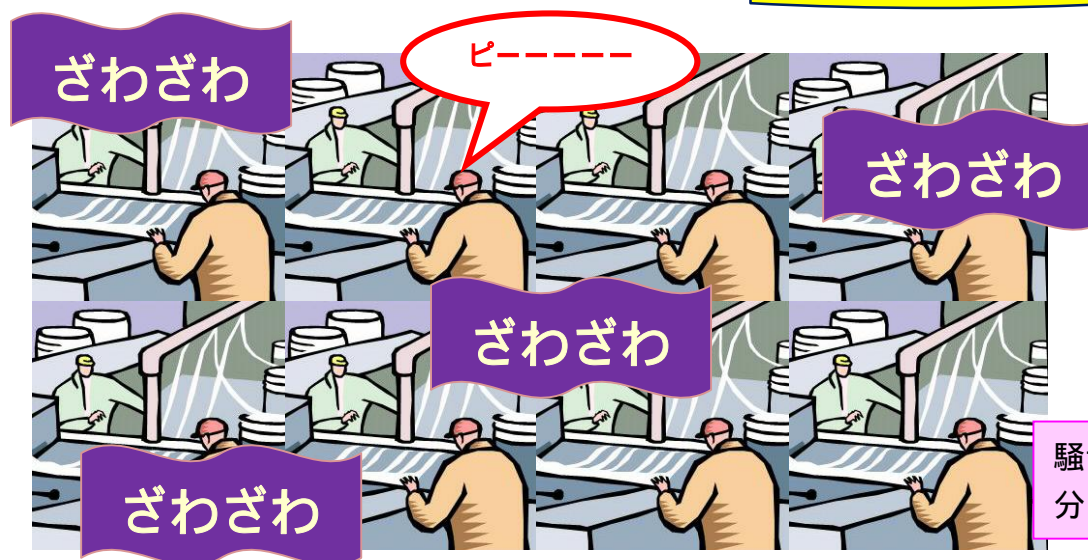


F (16進2桁で255)



F (16進2桁で255)

例) 製造ライン



起動音なし

FFTA10A/FFTA11

【内容】

PCを立ち上げた時、リーダーがつながっていれば“ピー”と起動音が鳴ります。

この設定でリーダーに電源が入った時の**起動音なくす**ことが出来ます。

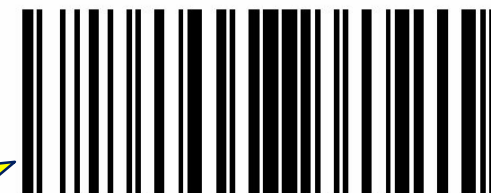
【活用例】

病院にて数十台のPCがAM8:00に一齐に起動するため、すべてのリーダーが一齐に鳴り出して患者さんに迷惑をかけた。

この設定でPC起動時が静かになった。

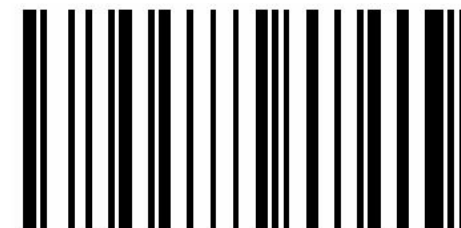
PCが朝8時と同時に一齐に立ち上がる

設定例



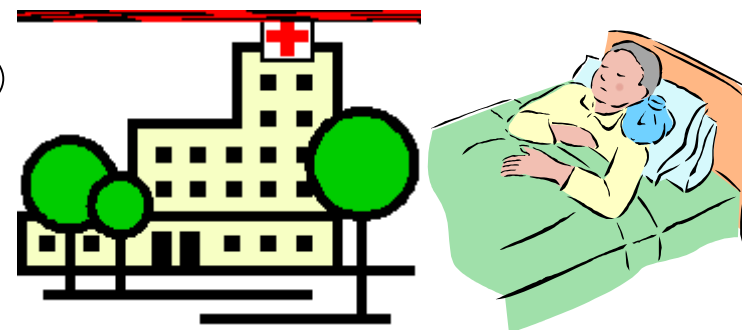
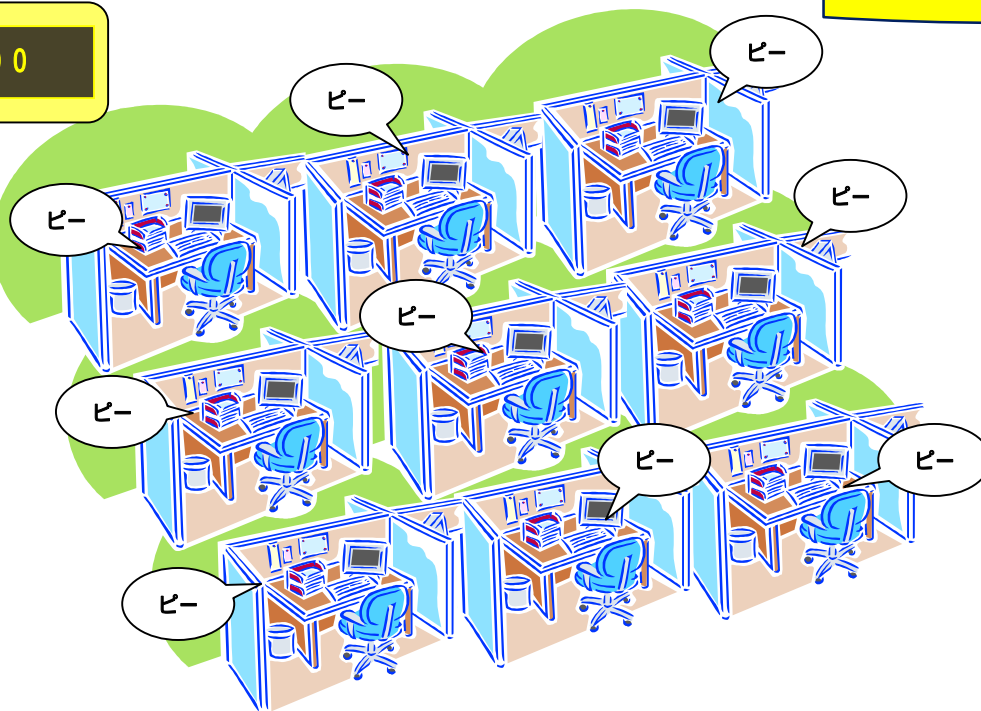
設定開始

例) 病院の始業



起動音ON/OFF

AM 8:00



日栄インテック株式会社

バーコード種別ごとのコードID

FFTA10A/FFTA11

【内容】

バーコードの種別ごとに任意の1文字または2文字をバーコードデータの前に付加することが出来ます。

【活用例】

バーコード種別ごとに項目が異なる使用方法。

「コンタクトレンズの出荷時にロット管理をしたい」

商品型番：JAN13 先頭にJJを付加する

ロット番号：EAN128 先頭にEEを付加する

宅配便送り状番号：NW-7 先頭にNNを付加する

例) UPC/JAN13 は先頭に JJ を付加

例) コンタクトレンズの出荷

<アプリケーションソフト>

入力されるコードの先頭文字を判断して自動で所定の項目に入力してくれる
ロット管理システム

設定例



設定開始



種別 JAN13



4 (16進2桁でJ)



A (16進2桁でJ)



4 (16進2桁でJ)



A (16進2桁でJ)

バーコードリーダーから入力されるデータ

JJ4560151183114

EE08032601

EE08032603

EE08032624

EE08032659

NNa123456789a

入荷データ収集システム

出荷

出荷・入荷 切り替え

商品	ロット

No	商品番号	ロット番号
1		

0
個

CSVファイル出力

プログラム終了

【Space Key】 【BackSpace Key】

商品番号とロット番号に送り状番号を
ヒモ付けて登録

AS400 実行キーを右CTRLキーで代用

FFTA10A/FFTA11

【内容】

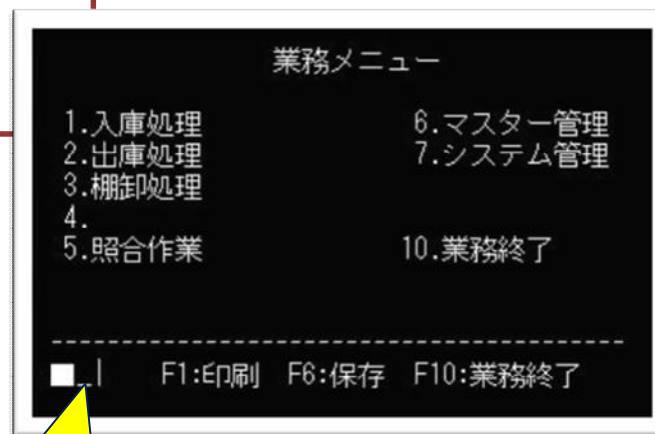
AS400 (SYSTEM - i) におけるキー操作において、入力値確定のための実行キーを、DOS/Vキーボードでは右Ctrlキーで対応します。

本設定では、バーコード入力後に改行の代わりに右Ctrlキーを付加することで、リーダーでのバーコード入力確定を可能にします。

【活用例】

AS400の業務システム。

注) ご使用の際は
ターミナーの設定を
“なし” にして下さい



x @⊕ 実行



設定例



設定開始



サフィックスの設定



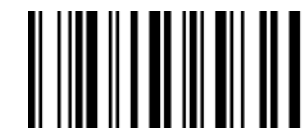
A

(16進2桁で右CTRL)



9

(16進2桁で右CTRL)



終了

ファンクションキーの入力

FFTA10A/FFTA11

【内容】

アプリで“ F 1 ” などファンクションキーを頻繁に使用する場合、ファンクションキーに相当するバーコードを読ませることで、キーボードから入力したと同じ効果がある設定です。

【活用例】

計測器のアプリで“ F 1 キー ” が設定完了。

A S 4 0 0 で実行キーの代わりに“ 右 C t r l キー ” を入力して確定する。

例) 計測器



F1キーで
設定完了

設定例



設定開始



設定OFF



設定ON



設定終了

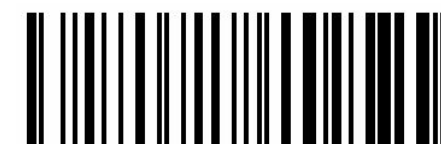
ファンクション設定ON



ファンクションの“ F 1 ”



キーボードの“ Enter ”



キーボードの“ 右 C t r l ”



PCのシャットダウン

FFTA10A/FFTA11

【内容】

PCを電源OFF（シャットダウン）させるバーコード設定です。作業者にPCのキーボードを触れさせたくない現場で活用できます。

キーボードレス、リーダーだけで作業させるケースです。

【活用例】

工作機の設定をPCとバーコードで行っているケース。

店頭ディスプレイで、パワーポイントファイルをエンドレスで流しているケース。



ファンクション設定ON

設定例



設定開始



設定OFF



設定ON



設定終了



電源OFF (Ctrl + Esc + U + U)



再起動 (Ctrl + Esc + U + R)

ケタ数抜き出し

FFTA10A/FFTA11

【内容】

バーコードの指定桁を抜き出す設定です。
バーコードデータの中から必要な情報だけ取り出して扱うのに
便利です。

【活用例】

医療関係の EAN128 ラベルよりロット番号だけ抜き出して使用する
ケースや、商品コードのみ抜き出して使用するケース。

医薬品の EAN128
ロット番号の抜き出し


商品名 : FFTA11USB
 商品コード : 4560151183114
 使用期限 : 2008/04/01
 ロット番号 : ABC123

JANコード

UCC/EAN-128

4 560151 183114

(01) 0 4560151 18311 4 (17) 091225 (10) ABC00123



削除する 2 6 桁 (16 進で 1A) 保存する 8 桁 (16 進で 08)
 (10) ロット番号

< 設定方法 >

設定開始 データ加工 (削除) バーコード種別 削除する桁数
 保存する桁数 FF で残り削除



設定開始



データ加工・削除



0 (16 進で 08)



8 (16 進で 08)



1 (16 進で 1A)



A (16 進で 1A)

設定例



0 (16 進で 08)



8 (16 進で 08)



F (16 進で FF)



F (16 進で FF)



決定